

三重大大学血液内科 学術研究に関するお知らせ

(初版 平成 28 年 10 月 3 日作成)

「急性骨髄性白血病幹細胞における CD25 発現の意義」に関するお知らせ

急性骨髄性白血病(AML)は化学療法により多くの場合寛解と呼ばれる白血病細胞が減少した状態になりますが、再発をきたすことがまれではありません。再発をきたす原因として白血病幹細胞と呼ばれる治療抵抗性の細胞の存在が注目されています。この白血病幹細胞を標的とする治療法の開発が模索されています。

本研究では、CD25 という分子が急性骨髄性白血病幹細胞の指標になるか否かを明らかにすることを目的としています。AML 患者さんの骨髄液や血液の白血病細胞の表面抗原の発現様式から、白血病幹細胞と考えられる細胞集団に CD25 の発現が認められるかを検索します。

研究の内容、方法について

この研究は平成元年 1 月から平成 32 年 12 月末日までに AML と診断された患者さんを対象としています。AML 患者さんから診療目的で採取し三重大大学血液・腫瘍内科に保存されている末梢血や骨髄液、もしくは三重大大学バイオバンクに保存されている末梢血や骨髄液中の白血病細胞の表面抗原の発現を検索し、白血病幹細胞の可能性が高い細胞集団に CD25 の発現が認められるかを検索します。また、免疫不全マウスに移植する方法を用いて、CD25 が白血病幹細胞の指標として適切かどうかを判定します。試料として、診断目的の残余分あるいはバイオバンクに保存されているものを使用させていただきますので、新たな費用負担や採血検査などの身体的負担は一切ありません。本研究の成果は学会や学術論文として公表されますが、個人情報保護は保護されます。ただし、患者さんの希望があれば、結果公表後にお伝えすることは可能です。

この研究の内容および方法は三重大大学医学部倫理委員会での厳正な審査の結果承認が得られ、実施について当学医学系研究科長の承認を得ています。ご自分のデータをこの研究に使用してほしくないとお考えの患者さんは、下記の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。データの使用にあたっては、患者さんおよびご家族に診療上の不利益などが一切生じないよう、以下のことを厳守いたします。

- ・医学研究以外には使用しない
- ・患者さんおよびご家族の氏名は公表しない。個人情報厳密に守秘する
- ・研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しない
- ・いつでも同意は撤回可能であり、それによって患者さんに不利益を及ぼすことはない

この研究の研究代表者

三重大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学 片山 直之

連絡先

三重大学医学部附属病院血液内科 三輪 啓志

住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174

電話 059-231-5016 FAX 059-231-5200

研究参加施設

三重大学医学部附属病院

市立四日市病院

鈴鹿中央総合病院

鈴鹿回生病院

遠山病院

松阪中央総合病院

済生会松阪総合病院

市立伊勢総合病院

伊勢赤十字病院